

ニュースリリース

経済産業省「地域マイクログリッド構築事業」に 京セラ・A.L.I と共に採択されました

～ 小田原市にて再生可能エネルギーを活用した地域マイクログリッドを構築 ～
～ 電気自動車のバッテリーをグリッド内の調整力として利用 ～

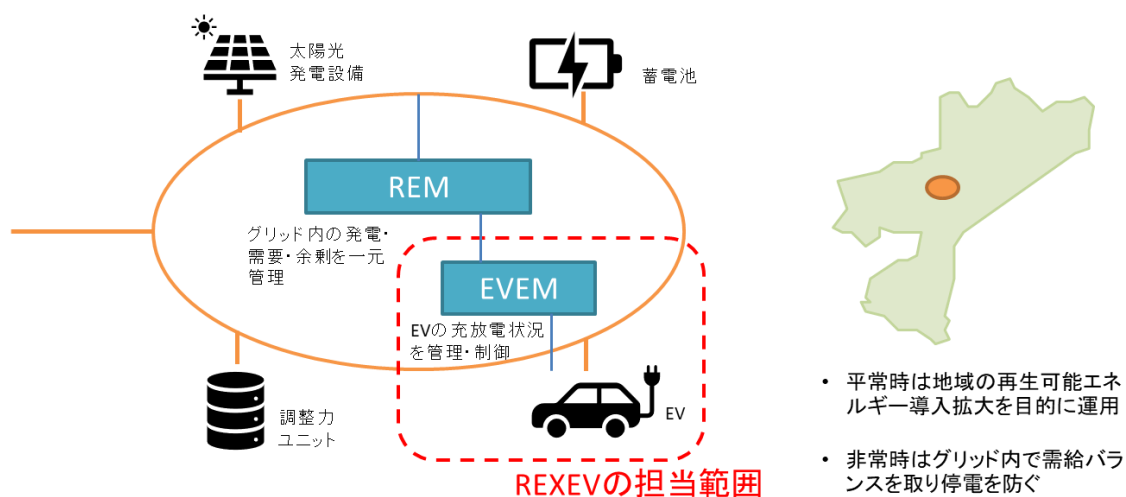
電気自動車（以下、EV）を使ったカーシェアリング“eemo”並びにエネルギーマネジメントに取り組む株式会社 REXEV（本店：東京都千代田区、代表取締役社長：渡部健、以下、REXEV）は、京セラ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：谷本秀夫、以下「京セラ」）、株式会社 A.L.I. Technologies（本社：東京都港区、代表取締役社長：片野大輔、以下「A.L.I.」）とともに、経済産業省の令和2年度「地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業（地域マイクログリッド構築事業）」に採択され、再生可能エネルギーを活用した地域マイクログリッドの構築を目指すこととなりましたのでお知らせいたします。

経済産業省「地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業（地域マイクログリッド構築事業）」は、エネルギーコストの低減やエネルギーの地産地消、災害等による大規模停電時のレジリエンス強化に資する分散型エネルギーシステムを、一般送配電事業者の所持または整備した送配電ネットワーク（系統線）を活用することで、電線を自前で敷設する場合に比して大きな投資を行うことなく構築することを目的とした事業となります。

今回採択された事業では、採択を受けた3社に加え、神奈川県小田原市（市長：守屋輝彦）、湘南電力株式会社（社長：原正樹、以下「湘南電力」）とコンソーシアムを立上げ、小田原市内の公園施設（いこいの森・こどもの森わんぱくらんど）にて、太陽

光発電設備、大規模蓄電池、EV 充放電器、EV、調整力ユニットおよびそれらを管理・制御する地域エネルギーマネジメント（Region Energy Management：REM）を導入し、地域マイクログリッドを構築いたします。導入された設備およびシステムは、平常時には地域内の再生可能エネルギー導入拡大を目的に、発電・需要・余剰を一元的に管理し、運用されます。また、非常時には当該地域の系統線を外部から切り離し、マイクログリッド内のみで需給バランスが保たれるよう発電・需要・余剰を一元的に管理し、運用することで、当該地域内の停電を防ぎ、地域のレジリエンス強化を実現します。

REXEV は、コンソーシアムにおいて、EV の導入・運用およびその管理を行う EV エネルギーマネジメントシステムの構築を担当いたします。利用者に不便を感じさせることなく EV が併せ持つ“モビリティ”と“蓄電池”という二つの機能を活用できるよう、REM と連携しながら EV のエネルギーマネジメントを行い、EV をグリッド内の調整力として機能させます。



REXEV は、本事業を通じて EV の調整力としての機能を検証・強化することにより、当社がビジョンとして掲げる「全ての人々が限界費用ゼロで移動できる持続可能な社会インフラの実現」の達成に向けさらに邁進して参ります。

■ 株式会社 REXEV

所在地	本店:東京都千代田区神田淡路町一丁目 9 番 5 号 本社:神奈川県小田原市寿町一丁目 1 番 12 号
-----	---

代表者	代表取締役社長 渡部 健
事業内容	e モビリティのシェアリング、エネルギーマネジメント事業
設立	2019 年 1 月 23 日
URL	コーポレートサイト https://rexev.co.jp/ カーシェアリングサービス eemo サイト https://eemo-share.jp/

以 上

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社 REXEV 藤井

Tel : 03-3525-8008 Mail : info@rexev.co.jp